

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	茨城県の歴史	茨城県の水土整備の歴史
原始	-7000(縄文時代)			
	-400(縄文時代)			
古墳・飛鳥時代	前1世紀(弥生時代)	・近畿まで稲作が北進する		
	3世紀(弥生時代)	・稲作の北進 本州北端(青森)まで		
	239(3世紀)	・邪馬台国卑弥呼[親魏倭王]の称号を受ける		
	300(4世紀頃)			
	500(6世紀当初)			
	645(大化元年)	・大化の改新		
	646(大化2年)	・班田収授の法を制定 ・公地公民制を宣言 ・租・庸・調を定める	・大化の改新により、常陸国が設置される	
	694(持統8年)	・藤原京に遷都		
	701(大宝元年)	・大宝律令		
	702(大宝2年)			
奈良時代	710(和銅3年)	・平城京に遷都		
	713(和銅6年)		・この頃、『常陸風土記』が成立する	
	722(養老6年)	・墾田100万町歩の開墾を計画する		
	723(養老7年)	・墾田の開墾をすすめ、用益の年限をきめる(三世一身法)		
	741(天平13年)			
	743(天平15年)	・墾田を私財とする事を許す(墾田永世私有令)		
	746(天平18年)			
	757(天平宝字元年)			
	765(天平神護元年)	・寺院以外の墾田開発を禁止		
	768(神護景雲2年)		・下総国結城郡と常陸国新治郡にかかる毛野川改修が命ぜられる	
784(延暦3年)	・長岡京に遷都			
	794(延暦13年)	・平安京に遷都		
	821(弘仁12年)	・空海、満濃池を作る		
	902(延喜2年)	・延喜の荘園整理令		

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	茨城県の歴史	茨城県の水土整備の歴史
平安時代	927(延長5年)	・『延喜式』完成		
	935(承平5年)		・平将門、伯父平国香・源護とたたかい、国香らを殺害	
	939(天慶2年)		・平将門、常陸・下野・上野国府を襲撃し、即位して新皇と称す	
	940(天慶3年)		・藤原秀郷、下総国猿島郡で平将門を討つ	
	平安時代	・平安中期の耕地面積862,767町		・常陸国:耕地40,092町
	1017(寛仁元年)	・藤原道長が太政大臣となる		
	1045(寛徳2年)	・寛徳の荘園整理令		
	1062(康平5年)	・前九年の役平定(安部氏亡ぶ)		
	1069(延久元年)	・延久の荘園整理令		
	1086(応徳3年)	・白河上皇、院政を始める		
	1087(寛治元年)	・後三年の役平定		
	1156(保元元年)	・保元の乱		
	1159(平治元年)	・平治の乱		
1167(仁安2年)	・平清盛、太政大臣となる			
鎌倉時代	1183(寿永2年)			
	1185(文治元年)	・守護、地頭を設置		
	1192(建久3年)	・源頼朝、征夷大将軍となる		
	1221(承久3年)	・承久の乱		
	1232(貞永元年)	・北条泰時、関東御成敗式目(貞永式目)制定		
	1274(文永11年)	・文永の役[蒙古襲来]		
	1281(弘安4年)	・弘安の役[蒙古襲来]		
	1297(永仁5年)	・永仁の徳政令発布		
1333(元弘3年)	・鎌倉幕府滅亡	・鹿島・埜・徳宿・宍戸氏ら、鎌倉に攻め入る、鎌倉幕府滅亡する		
室町	1334(建武元年)	・建武の中興		
	1336(建武3年)	・後醍醐天皇、吉野に移る(南北朝分裂)		
	1338(延元3年)	・足利尊氏、征夷大将軍となる		
	1368(応安元年)	・足利義満、征夷大将軍となる		
	1392(明德3年)	・南北朝の合一		
	1428(正長元年)	・正長の土一揆		

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	茨城県の歴史	茨城県の水土整備の歴史
町時代	1467(応仁元年)	・応仁の乱起こる		
	1488(長享2年)	・加賀一向一揆		
	室町時代	・室町期の耕地面積854,791町		・常陸国:耕地12,038町
	1501(文亀元年)			
	1506(永正3年)			
	1543(天文12年)	・種子島に鉄砲伝来		
	1573(天正元年)	・室町幕府滅びる		
安土・桃山時代	1581(天正9年)			
	1582(天正10年)	・本能寺の変 ・太閤検地始まる(～'98)		
	1585(天正13年)	・豊臣秀吉、関白となる		
	1588(天正16年)	・刀狩、封建的身分制、兵農分離		
	1590(天正18年)			・新島開墾(稲敷郡)*5
	1594(文禄3年)		・佐竹議宣、豊臣秀吉より54万5800石の領地をあてがわれる	
	1600(慶長5年)	・関ヶ原の戦い		
	1601(慶長6年)			
	1602(慶長7年)		・佐竹議宣、出羽国秋田へ国替えを命じられる	
	1603(慶長8年)	・徳川家康、征夷大將軍に任命され、江戸幕府を開く	・徳川家康の第十子徳川頼宣、水戸藩主となる	
	1604(慶長9年)			・黒子用水堰(真壁郡、200町)*5
	1605(慶長10年)			
	1606(慶長11年)			
	1607(慶長12年)			
	1608(慶長13年)			
	1609(慶長14年)			
	1610(慶長15年)			
	1611(慶長16年)			
	1612(慶長17年)			
	1613(慶長18年)			

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	茨城県の歴史	茨城県の水土整備の歴史
	1614 (慶長19年)	・大阪冬の陣		
	1615 (元和元年)	・大阪夏の陣 ・武家諸法度、禁中並公家諸法度を定める		
	1616 (元和2年)			
	1617 (元和3年)			
	1618 (元和4年)			
	1619 (元和5年)			
	1620 (元和6年)			
	1621 (元和7年)			
	1622 (元和8年)			
	1623 (元和9年)			
	1624 (寛永元年)			・寛永年間: 青木堰(真壁郡、50町)*5
	1625 (寛永2年)			・小貝川に福岡堰創設*6
	1626 (寛永3年)			
	1627 (寛永4年)			
	1628 (寛永5年)			
	1629 (寛永6年)			
	1630 (寛永7年)			・小貝川に岡堰用水を開設*6
	1631 (寛永8年)			
	1632 (寛永9年)			
	1633 (寛永10年)			
	1634 (寛永11年)			
	1635 (寛永12年)			・中居指用水(6,913石)、本宗道用水(10,060石)、原用水(5,143石)、三坂用水(3,444石)の計4ヶ用水開削(結城郡、25,560石)*5
	1636 (寛永13年)			
	1637 (寛永14年)			
	1638 (寛永15年)			
	1639 (寛永16年)	・鎖国令		
	1640 (寛永17年)			
	1641 (寛永18年)		・水戸藩、領内総検地を実施する	
	1642 (寛永19年)			
	1643 (寛永20年)	・田畑永代売買禁止令		

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	茨城県の歴史	茨城県の水土整備の歴史
	1644(正保元年)			
	1645(正保2年)			
	1646(正保3年)			
	1647(正保4年)			
	1648(慶安元年)			
	1649(慶安2年)	・地方五役5人組制度		
	1650(慶安3年)			
	江戸時代前期			・水戸藩24万石、笠間藩5万石、土浦藩3万石、麻生藩3万石、谷田部藩2万石、保内藩2万石、額田藩2万石
	1651(慶安4年)			
	1652(承応元年)			
	1653(承応2年)	・幕府、玉川上水開削を許し、費用を与える	・この年、仙台藩、潮来に仙台蔵を設ける	
	1654(承応3年)			
	1655(明暦元年)			
	1656(明暦2年)			
	1657(明暦3年)		・水戸光圀、『大日本史』の編纂に着手する	・福岡堰(筑波郡)*5
	1658(万治元年)			
	1659(万治2年)			
	1660(万治3年)			
	1661(寛文元年)			
	1662(寛文2年)			
	1663(寛文3年)			
	1664(寛文4年)			
	1665(寛文5年)			
	1666(寛文6年)	・山川掟の発令		
	1667(寛文7年)			・小貝川に豊田堰用水を開設*6
	1668(寛文8年)			
	1669(寛文9年)			
	1670(寛文10年)			
	1671(寛文11年)			
	1672(寛文12年)			
	1673(延宝元年)			

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	茨城県の歴史	茨城県の水土整備の歴史
	1674 (延宝2年)	・分地制限法		
	1675 (延宝3年)			
	1676 (延宝4年)			
	1677 (延宝5年)			
	1678 (延宝6年)		・水戸光圀、『大日本史』編纂のため、全国的な資料調査を開始する	
	1679 (延宝7年)			
	1680 (延宝8年)			
	1681 (天和元年)			
	1682 (天和2年)			
	1683 (天和3年)			
	1684 (貞享元年)	・河村瑞賢、淀川下流の治水事業に着手(~'85)		
	1685 (貞享2年)			
	1686 (貞享3年)			
	1687 (貞享4年)	・田畑永代売買禁止を再令する		
	1688 (元禄元年)			・元禄年間:上野原池(西茨城郡)*5
	1689 (元禄2年)			
	1690 (元禄3年)			
	1691 (元禄4年)			
	1692 (元禄5年)			
	1693 (元禄6年)			
	1694 (元禄7年)			
	1695 (元禄8年)			
	1696 (元禄9年)	・宮崎安貞「農業全書」刊		
	1697 (元禄10年)			
	1698 (元禄11元年)			
	1699 (元禄12年)			
	1700 (元禄13年)			
	1701 (元禄14年)		・水戸藩、表高35万石を許される	
	1702 (元禄15年)			
	1703 (元禄16年)			

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	茨城県の歴史	茨城県の水土整備の歴史
	1704 (宝永元年)	・大和川の付替工事開始		
	1705 (宝永2年)	・大和川旧河道新田開発		
	1706 (宝永3年)			
	1707 (宝永4年)	・富士山噴火、宝永山できる	・松波勘十郎、紅葉運河と大貫運河の開削に着手する(松波勘十郎翌年罷免させる)	・勘十郎堀の開削(～'09)*6
	1708 (宝永5年)	・貝原益軒『大和本草』		
	1709 (宝永6年)	・新井白石を登用する		
	1710 (宝永7年)			
	1711 (正徳元年)			
	1712 (正徳2年)			
	1713 (正徳3年)			
	1714 (正徳4年)			
	1715 (正徳5年)			
	1716 (享保元年)	・徳川吉宗、第8代将軍となる		
	1717 (享保2年)			
	1718 (享保3年)			
	1719 (享保4年)			
	1720 (享保5年)			
	1721 (享保6年)	・目安箱の設置		
	1722 (享保7年)	・新田開発の奨励		
	1723 (享保8年)			
	1724 (享保9年)		・幕府、飯沼新田の開発を許可する	
	1725 (享保10年)			
	1726 (享保11年)	・新田検地条目の制定		
	1727 (享保12年)			・飯沼干拓(結城郡、1,896町)*5
	1728 (享保13年)			
	1729 (享保14年)			
	1730 (享保15年)			
	1731 (享保16年)			
	1732 (享保17年)	・山陽・南海・西海・畿内蝗害のため大飢饉		
	1733 (享保18年)			

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	茨城県の歴史	茨城県の水土整備の歴史
江戸時代	1734(享保19年)			
	1735(享保20年)	・幕府、米価下落を防ぐため最低価格を決める		
	1736(元文元年)			
	1737(元文2年)			
	1738(元文3年)			
	1739(元文4年)			
	1740(元文5年)			
	1741(寛保元年)			
	1742(寛保2年)			
	1743(寛保3年)			
	1744(延享元年)			
	1745(延享2年)			
	1746(延享3年)			
	1747(延享4年)			
	1748(寛延元年)			
	1749(寛延2年)	・定免制を全面的に施行		
	1750(寛延3年)			
	江戸時代中頃	・江戸中期の耕地面積:田1,695,923町、畑1,417,074町、計3,013,546町		・常陸国:田49,172町、畑66,455町、計115,627町
	1751(宝暦元年)			
	1752(宝暦2年)			
	1753(宝暦3年)			
	1754(宝暦4年)			
	1755(宝暦5年)	・木曾川の治水工事完成		
	1756(宝暦6年)			
	1757(宝暦7年)			
	1758(宝暦8年)			
1759(宝暦9年)				
1760(宝暦10年)				
1761(宝暦11年)				
1762(宝暦12年)				

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	茨城県の歴史	茨城県の水土整備の歴史
	1763 (宝暦13年)			
	1764 (明和元年)			
	1765 (明和2年)			
	1766 (明和3年)			
	1767 (明和4年)			
	1768 (明和5年)			
	1769 (明和6年)			
	1770 (明和7年)			
	1771 (明和8年)			
	1772 (安永元年)	・田沼意次、老中となる		
	1773 (安永2年)			
	1774 (安永3年)			
	1775 (安永4年)			
	1776 (安永5年)			
	1777 (安永6年)			
	1778 (安永7年)			
	1779 (安永8年)			
	1780 (安永9年)			
	1781 (天明元年)			
	1782 (天明2年)	・下総印旛沼干拓に着手 ・瀬戸内・九州など大凶荒		
	1783 (天明3年)	・浅間山大噴火 ・冷害のため諸国大飢饉	・浅間山噴火のため常陸地方に降灰をみる	
	1784 (天明4年)	・この春夏諸国飢饉、農民流亡のため農村荒廃		
	1785 (天明5年)	・奥羽飢饉		
	1786 (天明6年)	・卜総手賀沼開発に着手するも、間もなく中止 ・老中田沼意次失脚 ・諸国大凶作	・関東・奥羽地方大洪水 ・水戸地方にも洪水おこり、'87年にかけて大飢饉	
	1787 (天明7年)	・松平定信、老中就任 ・寛政の改革が始まる		

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	茨城県の歴史	茨城県の水土整備の歴史
	1788(天明8年)			
	1789(寛政元年)	・困米の制を定める		
	1790(寛政2年)			
	1791(寛政3年)			
	1792(寛政4年)			
	1793(寛政5年)			
	1794(寛政6年)			
	1795(寛政7年)			
	1796(寛政8年)			
	1797(寛政9年)			
	1798(寛政10年)			
	1799(寛政11年)			
	1800(寛政12年)	・伊能忠敬、蝦夷地を測量する		
	1801(享和元年)			
	1802(享和2年)			
	1803(享和3年)			
	1804(文化元年)			
	1805(文化2年)			
	1806(文化3年)			
	1807(文化4年)			
	1808(文化5年)			
	1809(文化6年)			
	1810(文化7年)			
	1811(文化8年)			
	1812(文化9年)			
	1813(文化10年)			
	1814(文化11年)			
	1815(文化12年)			
	1816(文化13年)			
	1817(文化14年)	『農具便利論』		
	1818(文政元年)			

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	茨城県の歴史	茨城県の水土整備の歴史
	1819(文政2年)			
	1820(文政3年)			
	1821(文政4年)	・伊能忠敬、『大日本沿海実測地図』完成		
	1822(文政5年)			
	1823(文政6年)			
	1824(文政7年)			
	1825(文政8年)			
	1826(文政9年)			
	1827(文政10年)			
	1828(文政11年)			
	1829(文政12年)			
	1830(天保元年)			・天保年間:新江(多賀郡)、上原開墾(鹿島郡)*5
	1831(天保2年)	・諸国石高を調査する		
	1832(天保3年)			
	1833(天保4年)	・この冬、風水害により奥羽・関東飢饉	・この年、冷気、風水害により、関東・奥羽地方大飢饉	
	1834(天保5年)	・諸国飢饉		
	1835(天保6年)			
	1836(天保7年)	・諸国飢饉、奥羽地方最も甚だしく死者10万人に及ぶ		・秋成新田(東茨城郡、60余町)*5
	1837(天保8年)	・大塩平八郎の乱 ・この春、諸国飢饉、餓死多数		
	1838(天保9年)		・二宮尊徳、下館藩の仕法に着手する	
	1839(天保10年)	・この年、奥羽飢饉、死者・流民多数		
	1840(天保11年)			
	1841(天保12年)	・天保改革はじまる		
	1842(天保13年)		・徳川齊昭、偕楽園を開園する	
	1843(天保14年)	・印旛沼開墾開始		
	1844(弘化元年)	・印旛沼開墾中止		
	1845(弘化2年)			
	1846(弘化3年)			
	1847(弘化4年)	・信州大地震(善光寺地震)		

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	茨城県の歴史	茨城県の水土整備の歴史
	1848(嘉永元年)			
	1849(嘉永2年)			
	1850(嘉永3年)			
	1851(嘉永4年)			
	1852(嘉永5年)			
	1853(嘉永6年)	・ペリー浦賀来航		
	1854(安政元年)	・日米和親条約		
	1855(安政2年)	・江戸大地震(安政の大地震)		
	1856(安政3年)			
	1857(安政4年)			
	1858(安政5年)	・日米修好通商条約		
	1859(安政6年)			
	1860(万延元年)	・桜田門外の変	・水戸尊攘派有志と薩摩藩士、桜田門外において大老井伊直弼を暗殺する	
	1861(文久元年)			
	1862(文久2年)			
	1863(文久3年)			
	1864(元治元年)	・禁門の変、第1次長州征伐		
	1865(慶応元年)			
	1866(慶応2年)	・薩長同盟、第2次長州征伐	・徳川慶喜、15代将軍に就任する	・柳川新田(鹿島郡、28町)*5
	1867(慶応3年)	・大政奉還、王政復古宣言		
	1868(慶応4年)	・鳥羽・伏見の戦い(戊辰戦争起こる)		
	1868(明治元年)	・明治維新	・徳川慶喜、江戸より水戸へ退去し、弘道館で謹慎	
	1869(明治2年)	・東京遷都 ・版籍奉還 ・開拓使設置		
	1870(明治3年)	・勸農局(翌年、開墾局に改称)を設ける		
	1871(明治4年)	・戸籍法を定める ・廃藩置県 ・田畑勝手作許可		
	1872(明治5年)	・田畑売買禁止の解除		

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	茨城県の歴史	茨城県の水土整備の歴史
明治時代	1873(明治6年)	・徴兵令・地租改正条例を公布 ・内務省設置		
	1874(明治7年)	・北海道屯田兵制度を設ける		
	1875(明治8年)			
	1876(明治9年)			
	1877(明治10年)	・地租軽減(地価の3%から2.5%に) ・西南戦争		
	1878(明治11年)			
	1879(明治12年)	・国営安積疏水猪苗代湖開墾事業に着工(～'82)		
	1880(明治13年)	・区町村会法制定施行		
	1881(明治14年)	・農商務省設置 ・大日本農会創立		
	1882(明治15年)	・日本銀行開業		
	1883(明治16年)			
	1884(明治17年)		・加波山事件勃発	・土浦藩(茨城県)士族による新治郡三村の開墾
	1885(明治18年)	・太政官制を廃止(内閣制度を樹立)	・東北本線開通(上野・宇都宮間)で、古河駅開設	
	1886(明治19年)			
	1887(明治20年)	・石川県石川郡上安原村で石川式区画整理を開始		
	1888(明治21年)	・市制及び町村制を公布		
	1889(明治22年)	・大日本帝国憲法発布 ・東海道本線全通		
	1890(明治23年)	・水利組合条例・公有水面埋立法公布		
	1891(明治24年)	・濃尾大地震		
	1892(明治25年)			
		・耕地面積、田2,805,212ha、畑2,307,956ha、計5,113,168ha	・田85,445ha、畑107,253ha、計192,698ha	
	1893(明治26年)			
	1894(明治27年)	・日清戦争(～'95)		
	1895(明治28年)		・常磐線、田端・水戸間全通	
	1896(明治29年)	・河川法制定		

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	茨城県の歴史	茨城県の水土整備の歴史
明治時代	1897(明治30年)	・砂防法・森林法を公布		
	1898(明治31年)			
	1899(明治32年)	・耕地整理法公布		
	1900(明治33年)			
	1901(明治34年)			・耕地整理事業に県補助金交付始まる*6
	1902(明治35年)	・日英同盟成立 ・北海道土巧組合法公布	・大暴風雨により、県内に大被害(死者111人)	
	1903(明治36年)			
	1904(明治37年)	・日露戦争(～'05)		
	1905(明治38年)	・耕地整理法改正(灌漑排水の追加)		
	1906(明治39年)			
	1907(明治40年)	・耕地整理研究会(後の農業土木学会)発足		
	1908(明治41年)			
	1909(明治42年)	・耕地整理法改正(開墾・地目変換を認め、耕地整理組合を法人化)		
	1910(明治43年)	・韓国併合	・日立鉱山、日立製作所創業	
1911(明治44年)				
大正時代	1912(大正元年)			
	1913(大正2年)	・北海道大冷害		・伊讃美原開田用水*2
	1914(大正3年)	・第一次世界大戦勃発 ・耕地整理法改正(目的に埋立・干拓を追加)		
	1915(大正4年)			
	1916(大正5年)			
	1917(大正6年)	・米価高騰		
	1918(大正7年)	・富山県下で米騒動、以後1道3府32県に波及		
	1919(大正8年)	・都市計画法公布		
	1920(大正9年)	・第1回国勢調査実施(総人口7698万人、内地5596万人)		
	1921(大正10年)	・米穀法公布		・鱒川干拓設立認可(～'33)*6 ・江戸崎入埋立工事着工(～'58)*6 ・関川村霞埋立工事着工(～'26)*6

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	茨城県の歴史	茨城県の水土整備の歴史
	1922(大正11年)			<ul style="list-style-type: none"> 江戸崎入埋立工事着工*6 水海沼干拓の着工(~'38)*6 大山沼干拓の着工(~'31)*6
	1923(大正12年)	<ul style="list-style-type: none"> 関東大震災 		
	1924(大正13年)			
	1925(大正14年)	<ul style="list-style-type: none"> 普通選挙法(男子)公布 		<ul style="list-style-type: none"> 高浜三村干拓の着工(~'27)*6
	1926(大正15年)	<ul style="list-style-type: none"> 自作農創設維持補助規則制定公布 		<ul style="list-style-type: none"> 新利根川沿岸農業水利事業着工(~'28)*6
	1926(昭和元年)			
	1927(昭和2年)	<ul style="list-style-type: none"> 金融恐慌起こり、休業銀行続出 丹後地震 		
	1928(昭和3年)	<ul style="list-style-type: none"> 普通選挙による最初の衆議院議員総選挙 		
	1929(昭和4年)	<ul style="list-style-type: none"> 世界的経済大恐慌 農業土木学会(後の農業農村工学会)創立 		<ul style="list-style-type: none"> 甘田入干拓の着工(~'48)*6
	1930(昭和5年)	<ul style="list-style-type: none"> 昭和恐慌 農業恐慌、農村の危機深刻化する 		
	1931(昭和6年)	<ul style="list-style-type: none"> 満州事変起こる 北海道、東北に冷害、未曾有の大凶作 		<ul style="list-style-type: none"> 小場江農業水利事業着工(~'37)*6
	1932(昭和7年)	<ul style="list-style-type: none"> 第1次上海事変 5.15事件 時局匡救耕地関係農業土木事業発足 		<ul style="list-style-type: none"> 野田奈川干拓事業着工(~'52)*6 竜ヶ崎外17ヶ村農業水利事業着工(~'34)*6 福岡堰沿岸農業水利事業着工(~'34)*6 岡堰沿岸農業水利事業着工(~'35)*6
	1933(昭和8年)	<ul style="list-style-type: none"> 国際連盟脱退 米穀統制法公布 三陸地震大津波 	<ul style="list-style-type: none"> 千波湖干拓一部竣工 	<ul style="list-style-type: none"> 巴川沿岸農業水利事業着工(~'34)*6 飯沼川沿岸農業水利事業着工(~'42)*6 辰の口堰沿岸農業水利事業着工(~'35)*6 沖の州干拓事業着工(~'34)*6
	1934(昭和9年)	<ul style="list-style-type: none"> 満州国帝政実施(皇帝溥儀) 室戸台風 		
	1935(昭和10年)			
	1936(昭和11年)	<ul style="list-style-type: none"> 2.26事件 		<ul style="list-style-type: none"> 小野川外2ヶ村農業水利事業着工(~'38)*6 砂沼農業水利事業着工(~'40)*6 砂沼溜池改修*2
				<ul style="list-style-type: none"> 大形村外3ヶ村開墾事業着工(~'43)*6

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	茨城県の歴史	茨城県の水土整備の歴史
	1937(昭和12年)	・廬溝橋事件(日中戦争開始)		・福岡堰上流部農業水利改良事業着工(～'42)*6 ・十角塚樋農業水利改良事業着工(～'42)*6
	1938(昭和13年)	・国家総動員法公布 ・農地調整法公布		
	1939(昭和14年)	・第2次世界大戦はじまる		・山川沼沿岸農業水利改良事業着工(～'43)*6 ・破竹川沿岸農業水利改良事業着工(～'42)*6 ・江戸崎入干拓着工(～'58)*6
	1940(昭和15年)	・米穀管理規則により統制		・谷田用水農業水利改良事業着工(～'44)*6 ・吉田用水農業水利改良事業着工(～'42)*6
	1941(昭和16年)	・農地開発法公布、農地開発営団設立 ・太平洋戦争開始		
	1942(昭和17年)	・食糧管理法公布(供出配給強化)		・鶴戸沼干拓事業着工(～'62)*6 ・新利根川下流右岸農業水利事業着工(～'42)*6 ・吉沼村6ヶ村農業水利事業着工(～'48)*6
	1943(昭和18年)			
	1944(昭和19年)			
	1945(昭和20年)	・広島、長崎に原爆投下 ・ポツダム宣言受諾、終戦 ・緊急開拓事業実施要領制定 ・農地改革 ・自作農創設特別措置法制定 ・農地調整法改正 ・地方農地事務局設置	・日立・水戸市空襲	・国営新利根川農業水利事業着工(～'65)※ ・猿島中部農業水利事業着工(～'49)*6 ・潮来町外2ヶ村農業水利事業着工(～'49)*6 ・緑岡村笠原及び出島10ヶ村開拓事業着工(～'62)*6 ・菅谷町外7ヶ村開拓事業着工*6 ・高須開拓事業着工*6 ・田伏開拓事業着工*6 ・潮来干拓事業着工(～'49)*6 ・本新島干拓事業着工(～'56)*6 ・高須干拓事業着工(～'57)*6 ・谷田部開墾建設事業着工(～'48)*6 ・岡郷開墾建設事業着工(～'49)*6 ・土浦開墾建設事業着工(～'50)*6 ・玉造開墾建設事業着工(～'51)*6
	1946(昭和21年)			

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	茨城県の歴史	茨城県の水土整備の歴史
				<ul style="list-style-type: none"> ・鉾田第一開墾建設事業着工(～'53)*6 ・若松開墾建設事業着工(～'54)*6 ・福岡開墾建設事業着工(～'64)*6 ・阿見開墾建設事業着工(～'64)*6 ・出島開墾建設事業着工(～'65)*6 ・大原野開墾建設事業着工(～'65)*6 ・菅生沼開墾建設事業着工(～'67)*6 ・鹿島北部開墾建設事業着工(～'67)*6 ・水戸開墾建設事業着工(～'49)*6 ・笠原開墾建設事業着工(～'51)*6 ・大戸開墾建設事業着工(～'51)*6 ・大貫開墾建設事業着工(～'55)*6
	1947(昭和22年)	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法施行 ・農業協同組合法公布 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャサリン台風、県下各地に被害 	<ul style="list-style-type: none"> ・国営森戸干拓事業着工(～'55)※ ・大貫開拓事業着工(～'54)*6 ・渡里村外7ヶ村開拓事業着工(～'65)*6 ・新郷干拓事業着工(～'51)*6 ・江戸崎入干拓事業着工(～'58)*6 ・日川干拓事業着工(～'64)*6 ・湊沼干拓事業着工(～'68)*6 ・余郷入干拓事業着工(～'66)*6 ・新宮開墾建設事業着工(～'61)*6 ・新與開墾建設事業着工(～'48)*6 ・八原開墾建設事業着工(～'54)*6 ・高松開墾建設事業着工(～'54)*6 ・江戸崎開墾建設事業着工(～'49)*6 ・西筑波開墾建設事業着工(～'54)*6 ・那珂中部開墾建設事業着工(～'65)*6 ・大場開墾建設事業着工(～'63)*6 ・竹原開墾建設事業着工(～'52)*6 ・橘開墾建設事業着工(～'48)*6 ・七会開墾建設事業着工(～'53)*6 ・渡里開墾建設事業着工(～'68)*6
				<ul style="list-style-type: none"> ・菅生開拓事業着工(～'62)*6 ・鹿島北部及び新宮開拓事業着工(～'54)*6

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	茨城県の歴史	茨城県の水土整備の歴史
昭和時代	1948(昭和23年)	<ul style="list-style-type: none"> 建設省設置 		<ul style="list-style-type: none"> ・本新島干拓事業着工(～'57)*6 ・江連用水農業水利事業着工(～'49)*6 ・小場江農業水利事業着工(～'49)*6 ・辰ノ口堰農業水利事業着工(～'50)*6 ・茅根田渡堰農業水利事業着工(～'49)*6 ・結城用水農業水利事業着工(～'59)*6 ・君原村2ヶ村農業水利事業着工(～'50)*6 ・西郡西部開墾建設事業着工(～'53)*6 ・半ノ木開墾建設事業着工(～'52)*6 ・小桜村外1ヶ村開墾建設事業着工(～'53)*6 ・下妻開墾建設事業着工(～'54)*6 ・都和開墾建設事業着工(～'67)*6 ・岡田開墾建設事業着工(～'51)*6 ・北山内開墾建設事業着工(～'52)*6 ・友部開墾建設事業着工(～'51)*6 ・浦門開墾建設事業着工(～'49)*6 ・越安開墾建設事業着工(～'49)*6 ・堅倉開墾建設事業着工(～'51)*6 ・吉田開墾建設事業着工(～'51)*6 ・大賀開墾建設事業着工(～'49)*6 ・百里原開墾建設事業着工(～'51)*6 ・牛久沼沿岸用水改良事業着工(～'58)*6
	1949(昭和24年)	<ul style="list-style-type: none"> ・土地改良法公布 ・ドッジ勧告による均衡予算実施 		<ul style="list-style-type: none"> ・弓馬田開墾建設事業着工(～'53)*6
	1950(昭和25年)	<ul style="list-style-type: none"> ・朝鮮戦争勃発 ・国土総合開発法公布 	<ul style="list-style-type: none"> 朝鮮戦争勃発 	<ul style="list-style-type: none"> ・関本村外1ヶ村用排水改良事業着工(～'53)*6 ・豊岡村外5ヶ村用水改良事業着工(～'52)*6 ・小高用水改良事業着工(～'50)*6 ・津田開墾建設事業着工(～'52)*6
	1951(昭和26年)	<ul style="list-style-type: none"> ・積雪寒冷地単作地帯振興臨時措置法公布 		<ul style="list-style-type: none"> ・福岡堰下流農業水利事業着工(～'55)*6 ・六つ野原開墾建設事業着工(～'51)*6
	1952(昭和27年)	<ul style="list-style-type: none"> ・農地法公布 		<ul style="list-style-type: none"> ・新利根川上流用排水改良事業着工(～'71)*6 ・山川沼排水改良事業着工(～'68)*6 ・奥野開墾建設事業着工(～'55)*6 ・土浦市外15ヶ村用水改良事業着工(～'68)*6

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	茨城県の歴史	茨城県の水土整備の歴史
	1953(昭和28年)	・北九州及び和歌山県に大水害		
	1954(昭和29年)			
	1955(昭和30年)	・愛知用水公団、農地開発機械公団設立		
	1956(昭和31年)			・村田村外3ヶ村用排水改良事業着工(～'68)*6
	1957(昭和32年)	・八郎潟干拓事業開始		・八筋川開墾建設事業着工(～'67)*6
	1958(昭和33年)			・大重・大浦開墾建設事業着工(～'63)*6
	1959(昭和34年)	・伊勢湾台風		・国営延方干拓事業着工(～'66)※
	1960(昭和35年)	・所得倍増計画 ・食糧増産対策事業から農業基盤整備事業に名称変え		・国営西の州干拓事業着工(～'67)※
	1961(昭和36年)	・農業基本法制定 ・水資源開発公団法公布(設立は'62)		
		・耕地面積、田3,414,000ha、畑2,719,000ha、計6,136,000ha		・田105,200ha、畑128,900ha、計234,100ha
	1962(昭和37年)			・岡堰用排水改良事業着工(～'70)*6
	1963(昭和38年)	・団体営圃場整備事業の創設		・福岡堰用水改良事業着工(～'74)*6
	1964(昭和39年)	・東京オリンピック ・八郎潟大潟村誕生 ・改正河川法公布		
	1965(昭和40年)		・日本原子力発電公社東海発電所、試験発電成功	・国営鬼怒川南部農業水利事業着工(～'75)※ ・五霞村用水改良事業着工(～'68)*6
	1966(昭和41年)	・土地改良長期計画(1次)		・鬼怒川南部1次用水改良事業着工(～'72)*6
	1967(昭和42年)	・公害対策基本法公布		・国営鹿島南部農業水利事業着工(～'91)※ ・鬼怒川南部2次用水改良事業着工(～'77)*6
	1968(昭和43年)			
	1969(昭和44年)	・米の生産制限始まる(開田抑制措置) ・農業振興地域の整備に関する法律公布 ・農道舗装事業の創設		
	1970(昭和45年)			・国営石岡台地農業水利事業着工(～'89)※
	1971(昭和46年)	・政府米の買入制限導入 ・沖縄返還 ・環境庁発足		・牛久沼下流用排水改良事業着工*6 ・鹿島南部用水改良事業着工*6
	1972(昭和47年)	・土地改良法改正 ・農村基盤総合整備パイロット事業の創設		・小野川用水改良事業着工*6 ・那珂台地排水改良事業着工*6

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	茨城県の歴史	茨城県の水土整備の歴史
				・豊田堰用排水改良事業着工*6
	1973(昭和48年)	・第一次石油ショック ・土地改良長期計画(2次)		・岩間南部畑地帯総合土地改良事業着工*6
	1974(昭和49年)	・国土利用長期計画法公布 ・国土庁発足	・筑波大学開学	
	1975(昭和50年)			・猿島西部排水改良事業着工*6
	1976(昭和51年)	・土地改良法改正		・緑資源機構 八溝西部広域農業開発事業着工(～'90)
	1977(昭和52年)			
	1978(昭和53年)	・農林省、農林水産省に省名変更		
	1979(昭和54年)	・第二次石油ショック ・国営農地防災排水事業の創設		・水資源機構 霞ヶ浦用水事業着工(～'93)※ ・羽賀台畑地帯総合土地改良事業着工*6
	1980(昭和55年)			・国営霞ヶ浦用水農業水利事業着工(～'08)※ ・大野中部畑地帯総合土地改良事業着工*6
	1981(昭和56年)	・食糧管理法の改正	・台風15号により小貝川の堤防決壊、流域浸水、被害額18億円	・国営新利根川沿岸農業水利事業着工(～'92)※ ・中野谷畑地帯総合土地改良事業着工*6
	1982(昭和57年)		・冷夏と台風10号・18号による農産物被害総額100億円	
	1983(昭和58年)	・土地改良長期計画(3次) ・日本海中部地震		
	1984(昭和59年)	・農業振興地域の整備に関する法律と土地改良法の改正 ・118品目の関税引き下げなど対外経済対策を決定	・低温・少雨の異常気象により、農・漁業に大打撃	・出島用水改良事業着工*6 ・石岡台地用水改良事業着工*6 ・安静畑地帯総合土地改良事業着工*6
	1985(昭和60年)			・新利根川沿岸用排水改良事業着工*6 ・豊里中部畑地帯総合土地改良事業着工*6 ・大穂中部畑地帯総合土地改良事業着工*6
	1986(昭和61年)	・21世紀へ向けての農政の基本方向	・台風10号崩れの大雨で、那珂川・小貝川など県下の被害総額670億円	
	1987(昭和62年)	・水田農業確立対策決定		
	1988(昭和63年)	・日米牛肉オレンジ問題、GATTでの紛争解決へ ・青函トンネル、瀬戸大橋開通		
	1989(平成元年)			
	1990(平成2年)			

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	茨城県の歴史	茨城県の水土整備の歴史
平成時代	1991(平成3年)	・農業農村整備事業と事業名変わる		・南椎尾調整池完成※
	1992(平成4年)			・国営那珂川沿岸農業水利事業着工※
	1993(平成5年)	・環境基本法案決定 ・北日本中心に大冷害、作況指数74、冷害対策として米の緊急輸入		・緑資源機構 奥久慈農用地総合整備事業着工(～'00)※
	1994(平成6年)	・ウルグアイ・ラウンド農業合意関連対策大綱を決定		
	1995(平成7年)	・阪神・淡路大震災		
	1996(平成8年)			
	1997(平成9年)	・環境影響評価法(環境アセス法)公布		
	1998(平成10年)	・中央省庁等改革基本法成立		
	1999(平成11年)	・食料・農業・農村基本法成立		
	2000(平成12年)	・食料・農業・農村基本計画閣議決定		
	2001(平成13年)			
	2002(平成14年)			
	2003(平成15年)			
	2004(平成16年)	・中越地震		
	2005(平成17年)	・耕地面積、2,556,000ha、畑2,136,000ha、計4,692,000ha		・田101,200ha、畑76,000ha、計177,200ha
	2006(平成18年)			
	2007(平成19年)	・中越沖地震		
	2008(平成20年)	・岩手・宮城内陸地震		
2009(平成21年)			・国営鬼怒川南部施設整備事業着工※	
2010(平成22年)				
2011(平成23年)	・東日本大震災 3.11 東北地方太平洋沖地震(死者・不明者18,617人(H24.11.14警察庁)、津波による農地の流失・冠水等被害推定面積23,600ha(H23.3.29農林水産省))	3.11 東北地方太平洋沖地震(死者等25人、津波浸水面積2,300ha)		
2012(平成24年)				
2013(平成25年)				

<参考文献>

*1 「疏水百選」(2006年)(全国土地改良事業団体連合会)

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	茨城県の歴史	茨城県の水土整備の歴史
----	--------	-------	--------	-------------

*2 「日本水利施設進展の研究」(1958年)(牧 隆泰著、土木雑誌社)

*3 「明治前日本土木史」(1956年)(日本学術振興会、日本学士院日本科学史刊行会)

*4 「農業土木史」(1979年)((社)農業土木学会)

*5 「明治以前日本土木史」(1936年)(土木学会編、岩波書店)

*6 「利根川水系農業水利誌」(1987年)(農林水産省関東農政局利根川水系農業水利調査事務所編集、(社)農業土木学会発行)

※ 「各地方農政局ホームページ」等より抜粋

なお、「水土整備の歴史」欄で無印の事業等は「群馬県土地改良史」(1990年)より抜粋